

3月17日(木) 18:30~

会場：静岡県評会議室



第109回定例研究会

だれでも参加できます

静岡県ひとり親家庭の 実態と自立促進計画

報告者：静岡県健康福祉部こども未来局
こども家庭課 担当者(予定)

これからの企画

◆春のシンポジウム

- ・日時…4月30日(土)
13:30~
- ・会場…静岡労政会館
「正規・非正規の賃金と社会保障—ジェンダーの視点から」
藤原 千沙 氏 (法政大学)
中澤 秀一 氏 (静岡県立短期大学)

◆第110回定例研究会

- 「静岡県最低生計費試算調査における若年単身者の結果」
中澤 秀一 氏
- ・日時…5月19日(木)
18:30~
- ・会場…静岡県評会議室

ひとり親家庭の自立と “あたり前の暮らし”の実現

2015年3月に「第三次静岡県ひとり親家庭自立促進計画」が発表されました。ひとり親家庭は増加傾向にあり、その多くは、経済的に厳しく、また、子育てと生計を一人で担わなければならない状況に加え、子どもの教育や住宅の問題など様々な悩みや不安を抱えています。

ひとり親家庭の相対的貧困率は54.6%であり、全体(16.1%)の約3倍となっています。静岡県における母子家庭の年収は「100万円以上~150万円未満」の割合が最も高く、200万円未満の世帯が全体の52.9%と過半数を占めています。

「自立促進計画」では、就業支援、経済的支援、日常生活支援、相談体制の充実等を掲げています。